



つがる西北五広域連合 鶴田診療所が開所しました

サテライト診療所 として開所

1月7日（月）、西北五圏域の自治体病院機能再編成で、サテライト診療所となる、つがる西北五広域連合（連合長・平山誠敏五所川原市長）「鶴田診療所」が、旧町立中央病院中駐車場跡地に完成し開所しました。

※サテライト診療所：大きな病院や病院グループが、交通の便のよい駅前などに開設し、外来診療を行う、直営の診療所。

完成した診療所は、鉄筋造り平屋で、延べ床面積が824平方メートル。総事業費は4億2217万9千円で、このうち95%以上を町が負担しています。

新築に合わせてエックス線やコンピュータ断層撮影（CT）などの医療機器を最新機器に更新したほか、患者の診療情報をコンピュータで管理する「電子カルテ」を昨年導入したことにより、今後同広域連合の他の医療機関と診療情報を共有できるようになります。なお、圏域の中核病院となる建設中の「つがる総合病院」は、平成26年3月末開業の予定です。診療所はこれまで通り、常勤医は内科医1人で、非常勤の医師の応援を受けながら、内科、外科、小児科、整形外科（3月29日で診療を休止）、眼科、の5診療科で外来患者の診察を行っています。

竣工・開所式が行われる

診療所開所に先立ち1月6日（日）、同診療所ロビーで、関係者約100人が出席して「鶴田診療所 竣工式・開所式」が行われ診療所の完成を祝いました。

開所式では、同広域連合副会長の中野町長のあいさつに続き、同診療所の蝦名鉄●所長が「高齢者の多いこの地域にすばらしい診療所が開所しました。これまで以上に努力し、信頼される診療所になりたい」とあいさつと述べ、その後、会場中央で診療所関係者と中央保育所の園児たちによるテーブルカッ

トが行われました。また、開所式のアトラクションでは、中央保育所の園児たちによる「ハンドベルの演奏」と「よさこいソーラン」が披露され、新しい診療所のオープンにかわいい花が添えられていました。



・今後の無事を祈願する中野町長と町関係者



・中央保育所の園児を交えたテーブルカット

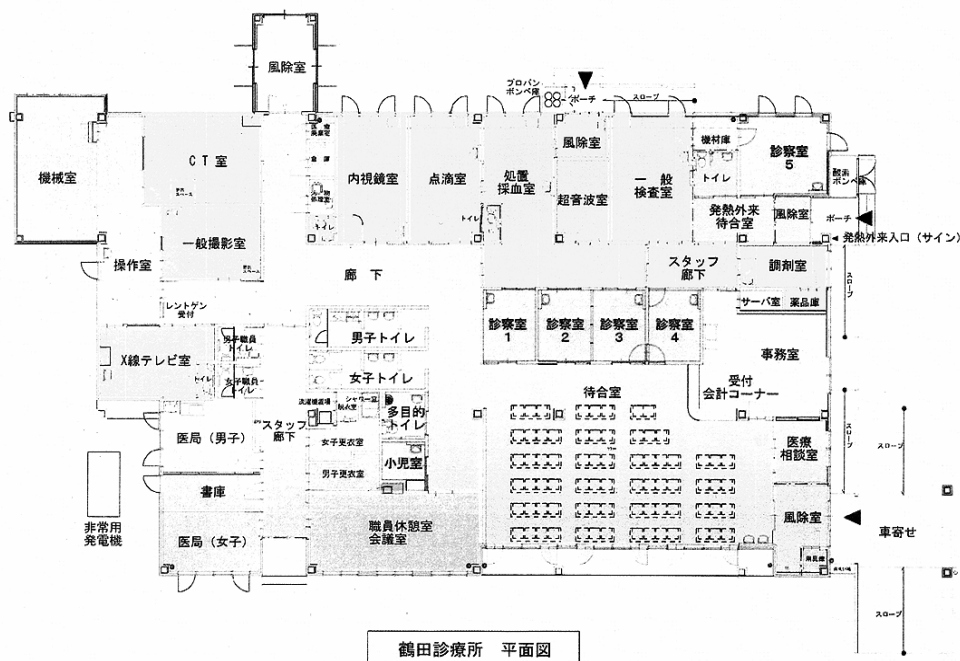


・よさこいソーラン「よっちゃれ」を踊る園児たち



・蝦名鉄●所長

・鶴田診療所が開所しました



○新しい診療所の内部をご紹介します

写真・右上／診療所入り口から中に入るとすぐ右手に「自動受付機」が設置してあります。診察時に中央の差し込み口に診察券を入れると受付を自動で行います。

・右下／待合室。診察室と向かい合わせにゆったり座れる74席の椅子を設置。また、上部や側面の壁には町の診療所らしく鶴の絵が描かれています。

・左上／コンピュータ断層撮影 (CT)。新築とともに最新機器に更新され高度な検査にも対応可能。

・写真左下／診察室。医師のデスクには電子カルテ対応のPCが設置されています。奥は処理採血室。

◇鶴田診療所の概要

1.所在地

〒038-3503

青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字鷹ノ尾34

TEL 0173 (22) 2261 FAX (22) 5484

2.面積

○敷地面積11,149.35㎡ ○建物面積891.13㎡

○床面積 824.27㎡

3.総事業費 4億2,217万9千円

4.建物構造

鉄骨造り平屋建て

5.要所諸室

待合室 受付事務室 医療相談室 診察室 暗室
採血処理室 一般検査室 調剤室 点滴室
超音波室 内視鏡室 CT室 一般撮影室
X線テレビ室 操作室 発熱外来待合室 小児室
汚物処理室 倉庫 サーバー室 職員休憩室
医局 男女更衣室 トイレ シャワー室 機械室
ほか